| | |
|---|---|
| | ⑵　局ごとに、次のアからクまでの手順で求めた面積の合計を、当該局の電力設備面積とする。<br>ア　整流装置系統数に整流装置基本部面積を乗じたもの及び整流装置増設架数に整流装置増設架面積を乗じたものの合計<br>イ　直流変換電源装置架数に直流変換電源装置架当たり単位面積を乗じたもの<br>ウ　交流無停電電源装置種別ごとに、交流無停電電源装置台数に交流無停電電源装置所要面積を乗じたものの合計<br>エ　蓄電池種別ごとに、蓄電池組数に蓄電池面積を乗じたものの合計<br>オ　受電装置種別ごとに、受電装置数に受電装置所要面積を乗じたものの合計<br>カ　発電装置種別ごとに、発電装置数に発電装置所要面積を乗じたものの合計<br>キ　小規模局用電源装置台数に小規模局用電源装置所要面積を乗じたものの合計<br>ク　電力設備の更改のために確保することが必要な面積として、整流装置一台分の面積、局内の最大容量の交流無停電電源装置一台分の面積、一系統に蓄電池が一組だけ設置されている場合の整流装置及び交流無停電電源装置の蓄電池一組分の面積の合計に、受電装置種別ごとの受電装置数に受電装置更改面積を乗じたものの合計又は小規模局用電源装置一台分の面積を加えた面積<br>⑶　局ごとに、種別ごとの空調設備台数に空調設備単位面積を乗じたものの合計を、当該局の空調設備面積とする。<br>⑷　局ごとに、⑴オで算定した面積を、当該局のケーブル室面積とする。<br>⑸　局ごとに、ネットワーク設備面積、電力設備面積、空調設備面積及びケーブル室面積の合計に、建物付帯設備面積付加係数を１から減じたものを建物付帯設備面積付加係数で除したものを乗じて、当該局の建物付帯設備面積とする。<br>⑹　⑴から⑸までで算定した、ネットワーク設備面積、電力設備面積、空調設備面積、ケーブル室面積及び建物付帯設備面積の合計を、当該局の機械室建物面積とする。<br>２　ＲＴ－ＢＯＸの機械室建物の設備量の算定<br>ＲＴ－ＢＯＸ数を１とする。<br>３　投資額の算定<br>局ごとに次の算定式により、前二項の規定により算定した面積、又はＲＴ－ＢＯＸ単価を用いて局ごと機械室建物投資額を求め、全ての局の局ごと機械室建物投資額を合算し、機械室建物投資額を算定する。<br>局ごと機械室建物投資額<br>＝機械室建物面積<br>×機械室建物建設単価<br>又は<br>局ごと機械室建物投資額<br>＝ＲＴ－ＢＯＸ単価 |

| | |
|---|---|
| 機械室土地 | １　機械室土地の設備量の算定<br>局ごとに、機械室建物面積を当該局の容積率で除したものを、当該局の機械室土地面積とする。ただし、当該局の容積率の指定がない場合には、機械室建物面積を複数階局容積率で除したものを、当該局の機械室土地面積とする。<br>２　投資額の算定<br>局ごとに次の算定式により、前項の規定により算定した面積を用いて局ごと機械室土地投資額を求め、全ての局の局ごと機械室土地投資額を合算し、機械室土地投資額を算定する。<br>局ごと機械室土地投資額<br>＝機械室土地面積<br>×（固定資産評価額÷土地単価時価補正係数）<br>×土地単価時点補正係数 |
| 監視設備（総合監視） | 監視設備（総合監視）投資額<br>＝ネットワーク設備の投資額合計<br>×監視設備（総合監視）対投資額比率<br>（「ネットワーク設備」とは、別表第４第１に規定する設備区分に係る設備、別表第４第３に規定する空調設備、電力設備、機械室建物及び機械室土地の区分に係る附属設備等をいう。以下この表において同じ。） |
| 監視設備（収容局設備監視） | 監視設備（収容局設備監視）投資額<br>＝収容局設備（局内スプリッタ及び局側光回線終端装置）投資額<br>×収容局設備監視装置対投資額比率 |
| 監視設備（市内線路監視） | 監視設備（市内線路）投資額<br>＝市内線路投資額（加入系光ケーブル及び加入系電柱の投資額の合計）<br>×監視設備（市内線路）対投資額比率 |
| 共通用建物 | 共通用建物投資額<br>＝機械室建物投資額<br>×共通用建物対投資額比率 |
| 共通用土地 | 共通用土地投資額<br>＝機械室土地投資額<br>×共通用土地対投資額比率 |
| 構築物 | 構築物投資額<br>＝（機械室建物投資額＋共通用建物投資額）<br>×構築物対投資額比率 |
| 機械及び装置 | 機械及び装置投資額<br>＝ネットワーク設備の投資額合計<br>×機械及び装置対投資額比率 |